

VTホールディングス株式会社

(名証2部、大証JQ:7593)

2011年3月期 決算説明会

2011年5月



VT HOLDINGS

この資料に記載されている業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれているため、実際の業績が予想数値と異なる場合があることをご了承ください。

●増収、増益

- ✓ 9月初旬まで継続したエコカー購入補助金による、自動車販売関連事業の増収が寄与
- ✓ 営業利益、経常利益、当期純利益のすべての項目で**過去最高益**

●財務体質の改善

- ✓ 短期借入金は、前期末比5,146百万円減少
- ✓ 自己資本は、前期末比2,576百万円増加
- ✓ 自己資本比率は、前期末比4.3%改善し18.6%

●中間配当5円、期末配当10円(うち特別配当5円)、年間配当15円

- ✓ 好調な業績を勘案し、3月24日付で配当予想を修正



過去最高益を達成

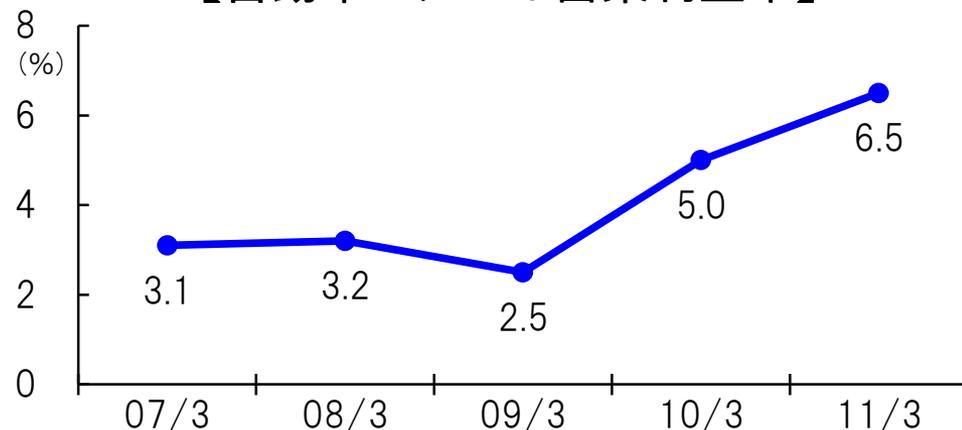
- ✓ 売上高は、エコカー購入補助金の効果もあり、3期ぶりの増収
- ✓ 営業利益、経常利益、当期純利益は、いずれも過去最高であった前期実績を大幅に更新
- ✓ 東日本大震災に伴うマイナス要因以外は、全般的に順調な推移

	07/3	08/3	09/3	10/3	11/3	前期比
(単位:百万円)						
売上高	97,735	107,976	93,430	88,276	92,657	105.0%
営業利益	2,820	3,370	2,393	4,464	5,919	132.6%
経常利益	2,841	3,059	1,929	4,226	5,700	134.9%
当期純利益	△719	1,161	△423	1,809	2,763	152.8%
1株当たり当期純利益	△22.45円	34.02円	△12.61円	53.62円	80.69円	150.5%
自己資本当期純利益率	△8.9%	15.0%	△5.4%	21.1%	25.2%	+ 4.1%

自動車セグメントの伸長が 今期の増収増益に寄与

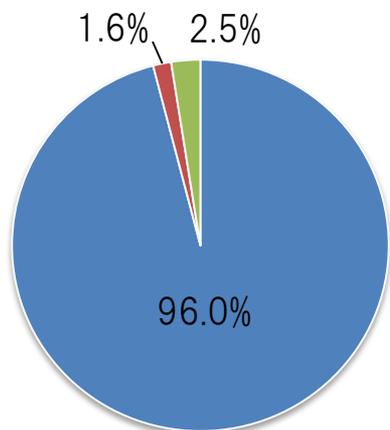
- ✓自動車セグメントは、6.3%の増収、36.3%の増益
- ✓自動車セグメントは、営業利益率を大幅に改善(5.0%→**6.5%**)

【自動車セグメント営業利益率】



【セグメント別売上高構成】

■自動車 ■環境 ■その他



2011年3月期

(単位:百万円)

		07/3	08/3	09/3	10/3	11/3	前期比
売上高	自動車	94,626	104,910	88,853	83,681	88,914	106.3%
	環境	754	683	1,129	1,363	1,440	105.6%
	その他	2,353	2,381	3,447	3,231	2,236	67.4%
	連結	97,735	107,976	93,430	88,276	92,657	105.0%
営業利益	自動車	2,978	3,417	2,243	4,157	5,760	136.3%
	環境	33	44	200	287	303	107.5%
	その他	34	201	329	148	△144	-
	連結	2,820	3,370	2,393	4,464	5,919	132.6%

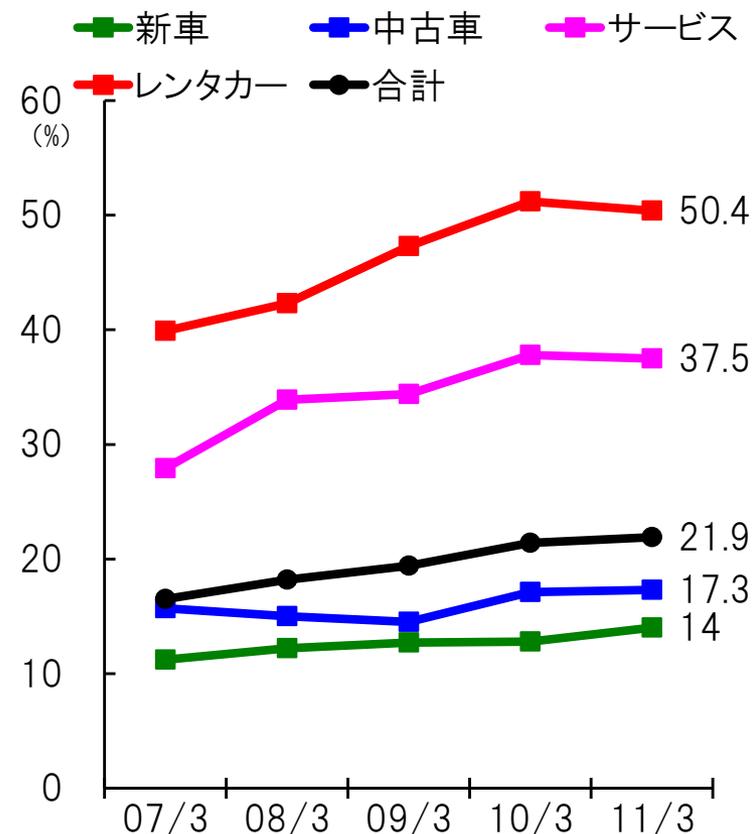
※ 前期までのセグメント情報において別掲していた不動産賃貸業、投資関連事業は、昨年度実施の資産売却などにより、金額が些少となった為、今期からは別掲せずに「その他」に含んでおり、そのほか「その他」には、住宅関連事業、全社費用と調整額を含んでおります。

自動車セグメントの粗利率は0.4%向上

- ✓新車部門は上半期のエコカー買替補助金の影響等により、3期ぶりの増収
- ✓中古車部門・レンタカー部門は大幅に増収増益
- ✓サービス部門は、安定的に推移

(単位:百万円)		07/3	08/3	09/3	10/3	11/3	前期比
売上高	新車	48,969	52,590	42,005	41,686	42,937	103.0%
	中古車	23,992	27,925	22,833	17,656	21,095	119.4%
	サービス	19,334	21,828	21,691	21,545	21,375	99.2%
	レンタカー	2,330	2,566	2,323	2,792	3,505	125.5%
	合計	94,626	104,910	88,853	83,681	88,914	106.2%
粗利益	新車	5,525	6,431	5,362	5,356	6,010	112.2%
	中古車	3,767	4,200	3,323	3,027	3,663	121.0%
	サービス	5,399	7,416	7,468	8,146	8,023	98.5%
	レンタカー	931	1,086	1,101	1,429	1,766	123.5%
	合計	15,622	19,133	17,256	17,959	19,469	108.4%
粗利率	新車	11.3%	12.2%	12.8%	12.8%	14.0	+1.1%
	中古車	15.7%	15.0%	14.6%	17.1%	17.3	+0.2%
	サービス	27.9%	34.0%	34.4%	37.8%	37.5	-0.2%
	レンタカー	34.0%	42.3%	47.4%	51.2%	50.4	-0.8%
	合計	16.5%	18.2%	19.4%	21.4%	21.9	+0.4%

【部門別 粗利率】



赤字にならない体質

基盤収益カバー率
 = 新車以外の粗利益 ÷ 販管費

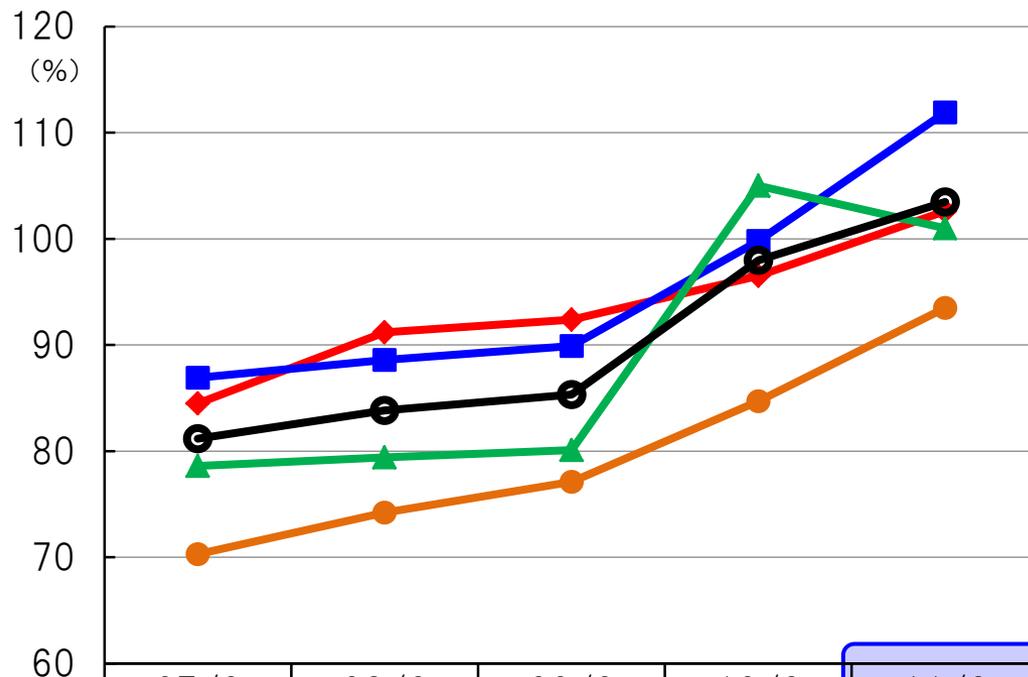
✓100%を超えれば、新車が売れなくても赤字にならない

✓VTグループは、主要4社の平均で**103.5%**
 (主要4社の売上高で全体の81%)

✓サービス部門が貢献

- 粗利率が高い
 (新車部門の3倍以上)
- 安定したストック型ビジネス
 (販売台数ではなく、保有台数に連動)

【主要4ディーラーの基盤収益カバー率】



	07/3	08/3	09/3	10/3	11/3
◆ホンダカーズ東海	84.5	91.2	92.4	96.5	102.6
■長野日産	86.9	88.6	89.9	99.8	111.9
▲静岡日産	78.6	79.4	80.1	105	101
●三河日産	70.3	74.2	77.1	84.7	93.5
●4社平均	81.2	83.8	85.3	98.0	103.5

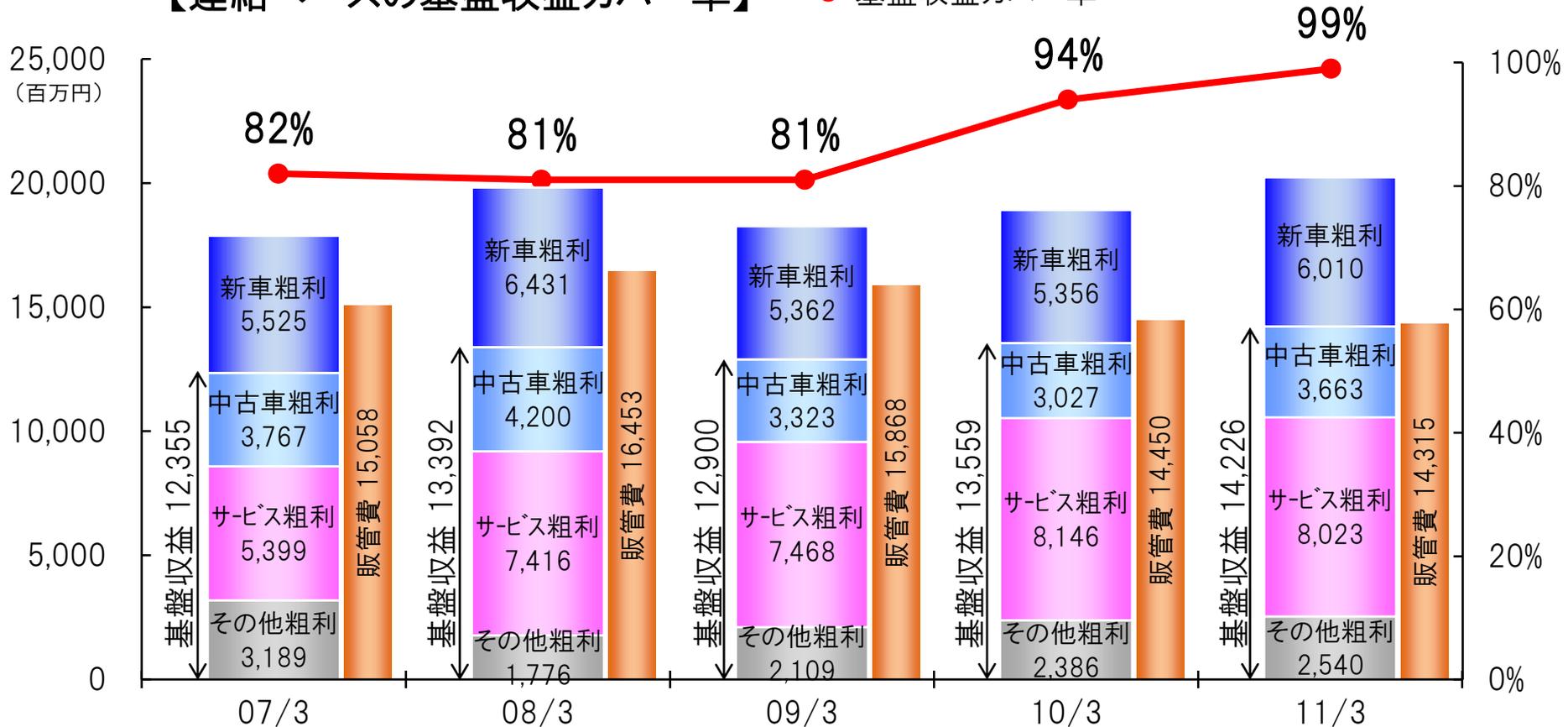
※ 基盤収益カバー率については、連結調整など考慮前の各社個別の決算数値に基づきつつ、一部4社比較の為の修正を行っております。

※ 4社平均は、各社の売上高に応じて、加重平均しております。

「新車販売に依存しない体質」 連結ベース基盤収益カバー率は99%

✓新車部門以外の粗利益の向上と販管費の圧縮により、連結ベースの基盤収益カバー率は、ほぼ100%を実現

【連結ベースの基盤収益カバー率】 ● 基盤収益カバー率



長期では新車、中古車ともにマイナス成長

自動車の登録台数は、
新車・中古車ともに減少
傾向

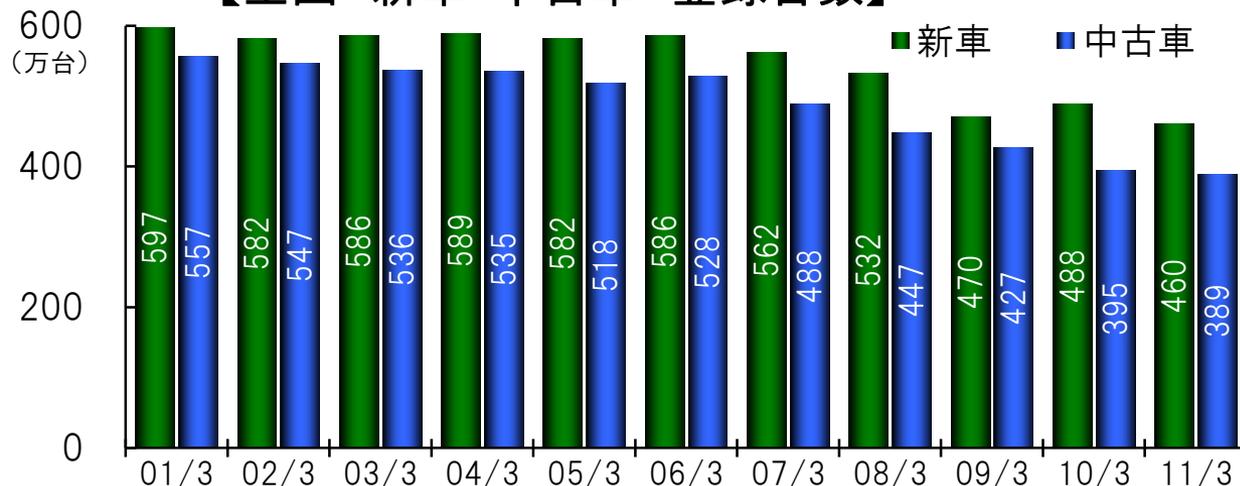
(過去10年で新車23%中古車30%減)

10/3期は、政府の支援策などによ
り、新車販売の持ち直しが見られる
が、長期的には緩やかな減少を想
定

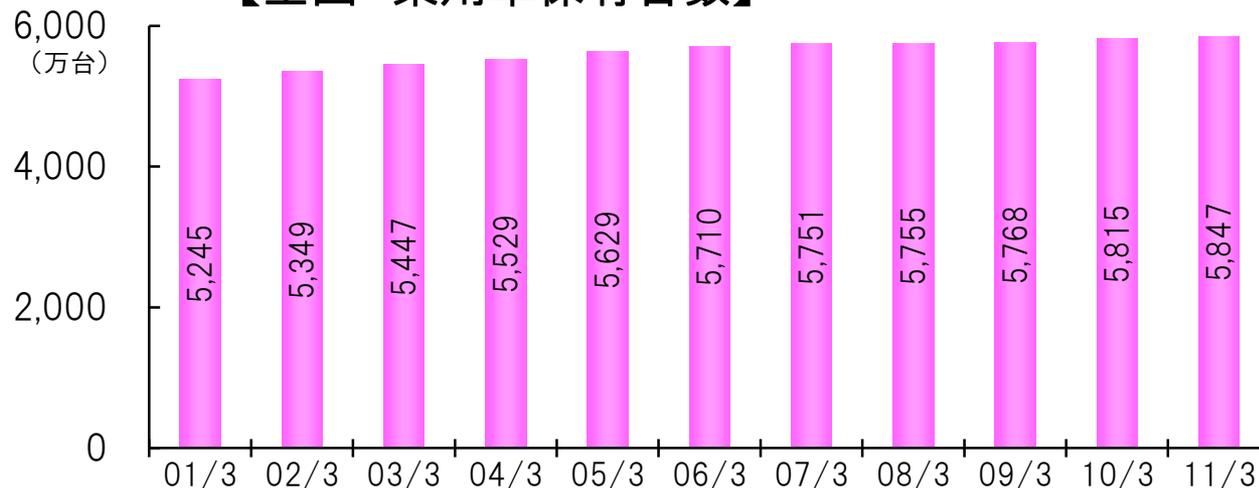
保有台数は、車輛の耐
用年数が長くなったこと
などもあり、01/3期比
11%増加

⇒当社収益の約40%を占めるサー
ビス部門は、保有台数を収益の源
とするストックビジネスであるため、
引続き安定的に収益確保の見込

【全国 新車・中古車 登録台数】



【全国 乗用車保有台数】



※11/3期の乗用車保有台数のみ2月末台数

2011年3月期 B/S

負債の減少

(前期末比△47億円)

・短期借入金 △51億円 等

BS圧縮の方針に基づき、
銀行借入を返済

財務体質の強化

純資産の増加

(前期末比+26億円)

・当期純利益 +27億円
・配当金の支払 △2億円 等実質有利子負債
の減少

(前期末比△31億円)

期末直前の震災の影響もあり、
目標の△50億円は未達ながら、
BS圧縮は順調に推移。

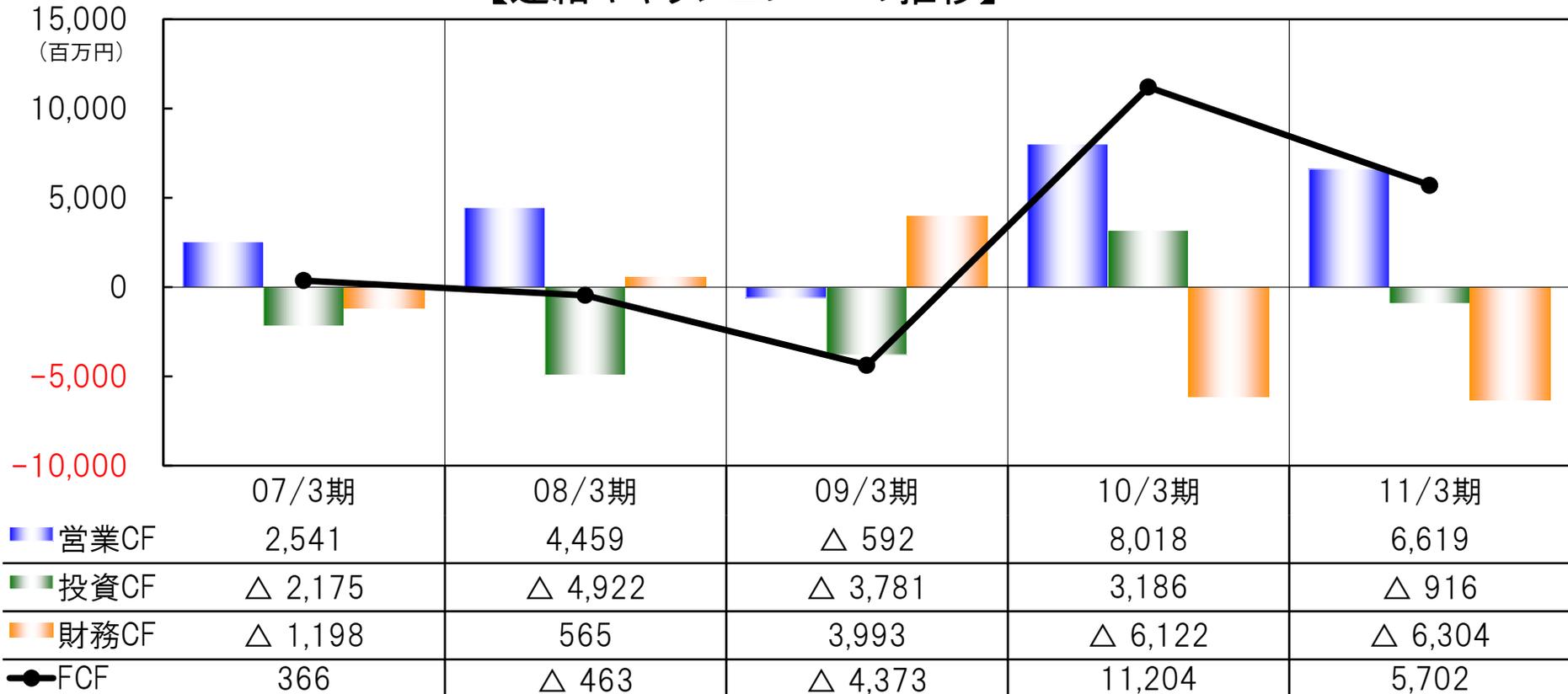
(単位:百万円)	07/3	08/3	09/3	10/3	11/3
現金及び預金	2,215	2,297	1,908	7,042	6,412
その他	16,450	16,076	14,000	16,110	14,221
流動資産合計	18,665	18,373	15,908	23,152	20,634
有形固定資産合計	25,083	26,521	29,068	25,311	26,667
無形固定資産合計	14,866	14,139	13,315	12,502	11,688
投資その他の資産合計	8,753	8,661	7,712	6,862	6,739
固定資産合計	48,702	49,321	50,096	44,676	45,095
繰延資産	8	4	-	-	-
資産合計	67,377	67,699	66,005	67,829	65,730
流動負債	39,271	41,802	44,364	42,893	37,813
固定負債	17,417	15,134	13,376	14,446	14,815
負債合計	56,689	56,937	57,741	57,339	52,628
資本金・剰余金	7,339	8,427	7,793	9,760	12,372
自己株式	△71	△100	△218	△193	△286
株主資本合計	7,268	8,327	7,574	9,567	12,086
その他	3,419	2,434	689	922	1,015
純資産合計	10,687	10,762	8,263	10,489	13,101
負債純資産合計	67,377	67,699	66,005	67,829	65,730
<実質有利子負債>	28,058	28,666	34,677	25,876	22,757

営業CF 66億円

- ✓ 営業CFは、主に税引前当期純利益(+5,406百万円)により安定推移
- ✓ 営業CFの多くを、借り入れの返済に充てたことにより、財務CFは、△6,304百万円

※ FCF(フリーキャッシュフロー) = 営業キャッシュフロー + 投資キャッシュフロー

【連結キャッシュフローの推移】



主な子会社 ホンダカーズ東海



HONDA

〈愛知県尾張、岐阜県西濃〉

- ・新車 24拠点
- ・中古車 1拠点

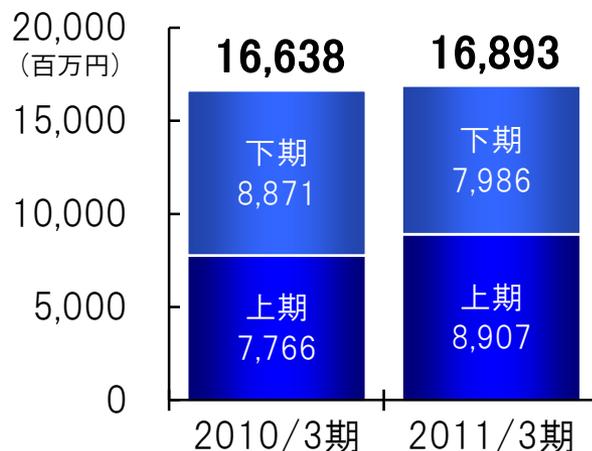
売上高、経常利益ともにほぼ横ばい

売上高経常利益率
6.8% (前年同期 7.0%)

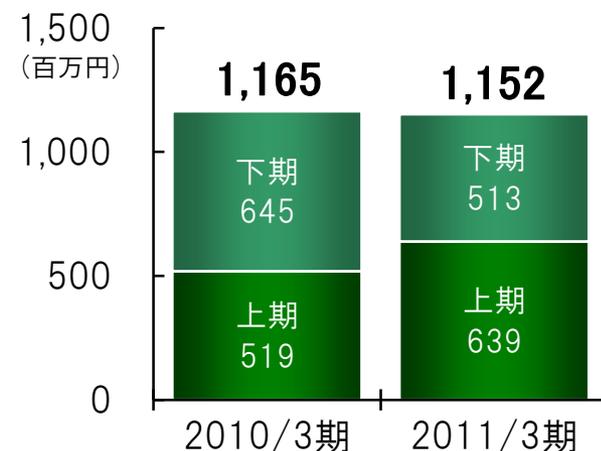
連結売上高に対する構成比
18.2%

上場時の母体企業でもあり、ここで
培われた運営ノウハウがグループ傘
下の他のディーラーに注入され、収
益性強化に寄与

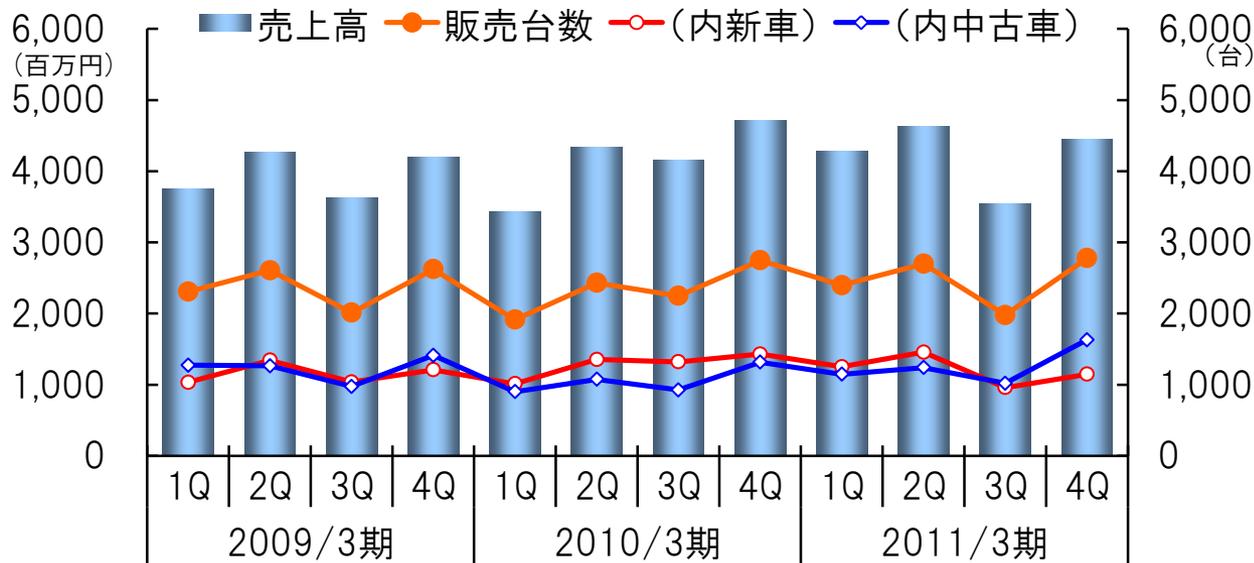
【売上高】



【経常利益】



【売上高及び販売台数】



ホンダ車のトピックス

2011年3月期

7月 フリードスパイク

人気の小型ミニバン
フリードの5人乗り
バージョンが新登場
(7/8)



10月 フィット ハイブリッド

人気のフィットがモデルチェンジし、待望
のハイブリッドモデルが新登場(10/8)

2012年3月期

6月 フィット シャトル

人気のフィットのワゴン
タイプが新登場する
予定。フィット同様、ハ
イブリッドモデルもライ
ンナップされる。



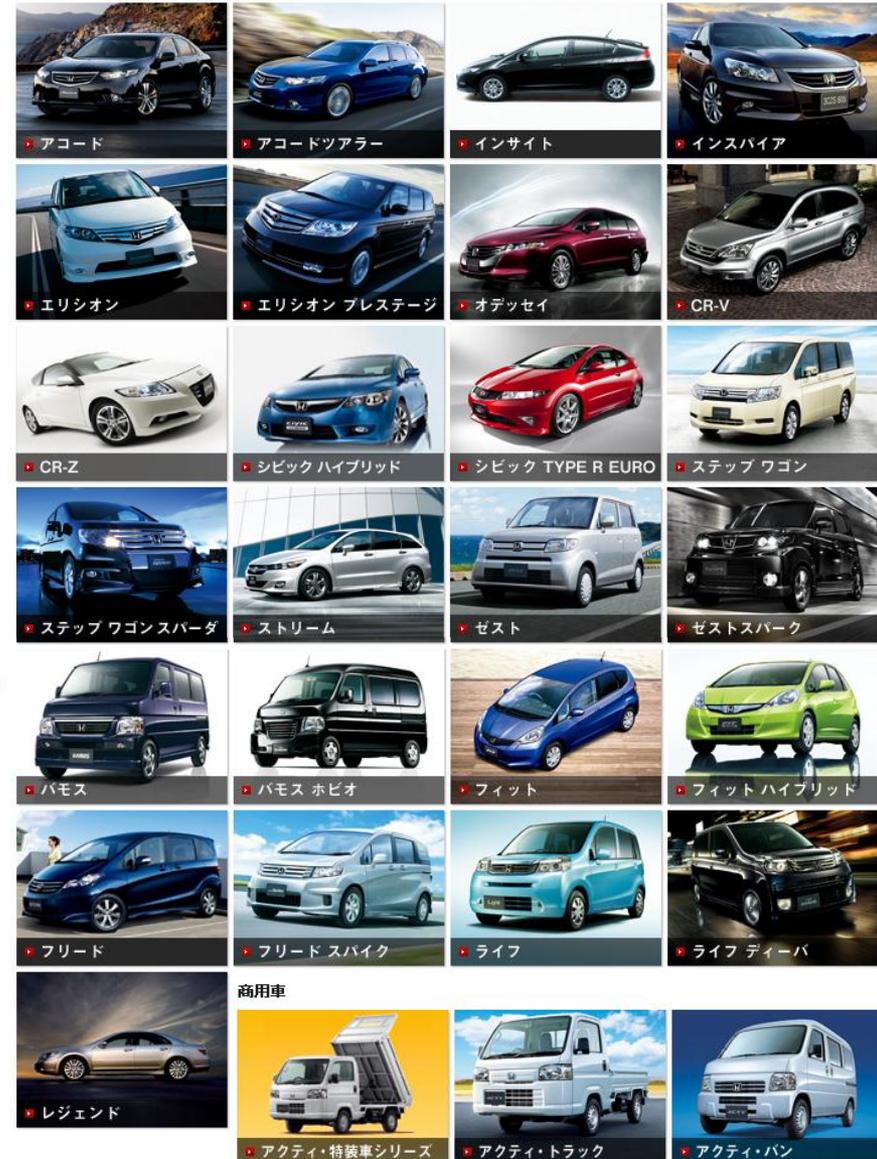
下期 フリード マイナーチェンジ

人気の小型ミニバンフリードがモデルチェンジし、ハイブリッドモデルが追加される予定。

下期 CR-V フルモデルチェンジ

人気のSUVがフルモデルチェンジ予定。

乗用車：



主な子会社 長野日産自動車



HONDA

<長野県全域>

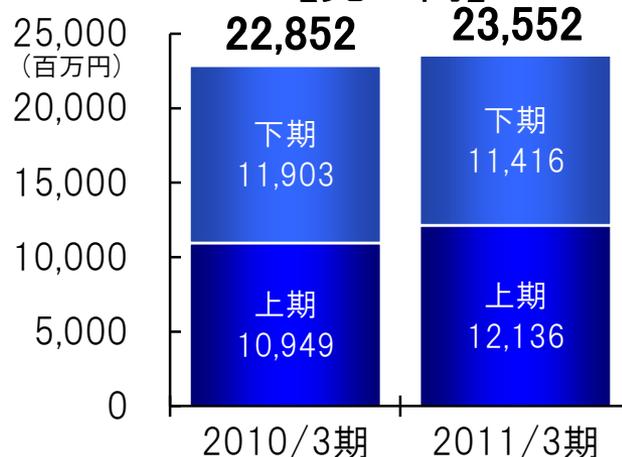
- ・新車 31拠点
- ・中古車 8拠点

増収、増益。過去最高益を更新。

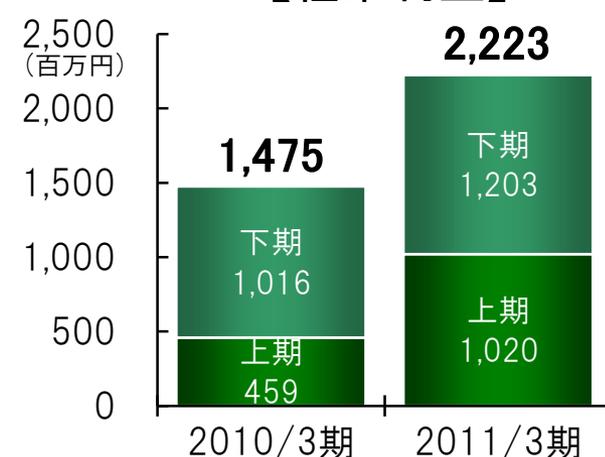
売上高経常利益率
9.4% (前年同期 6.5%)

連結売上高に対する構成比
25.4%

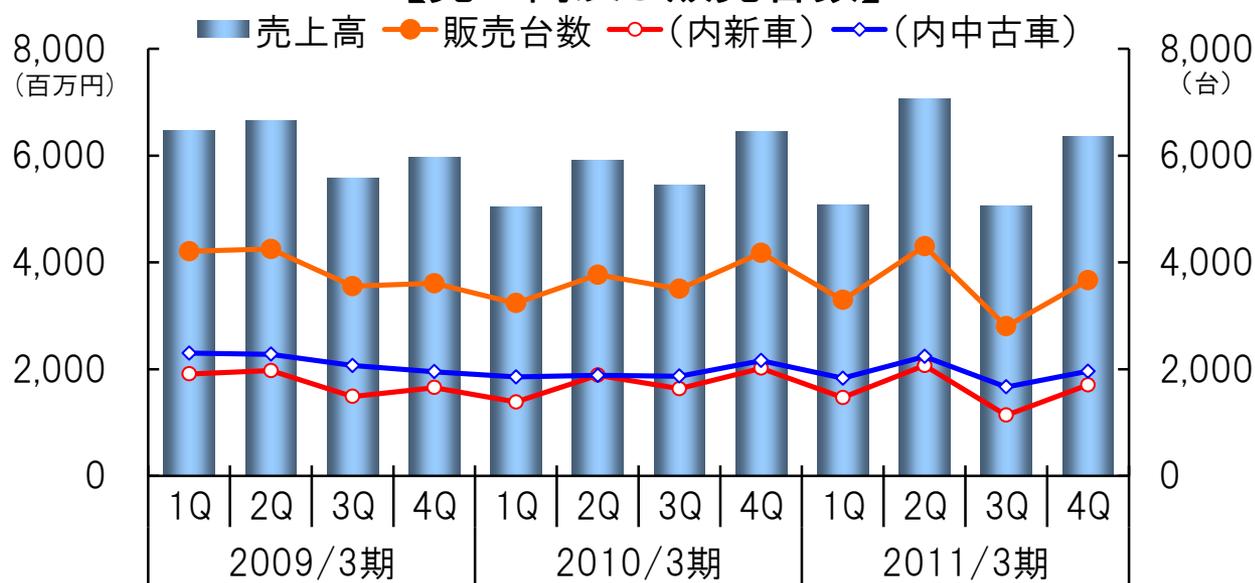
【売上高】



【経常利益】



【売上高及び販売台数】



主要子会社 静岡日産自動車



<静岡県中東部>

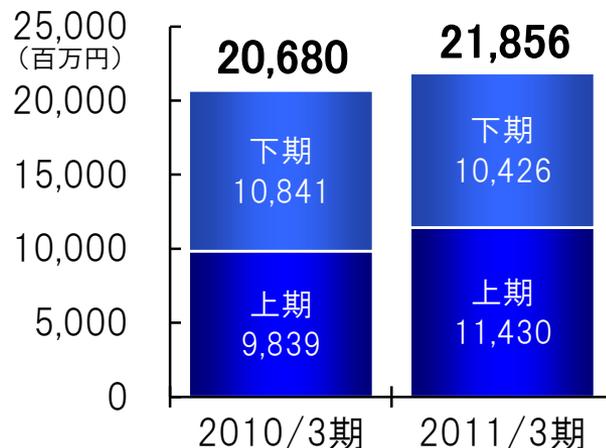
- ・新車 27拠点
- ・中古車 6拠点

増収、増益。過去最高益を更新。

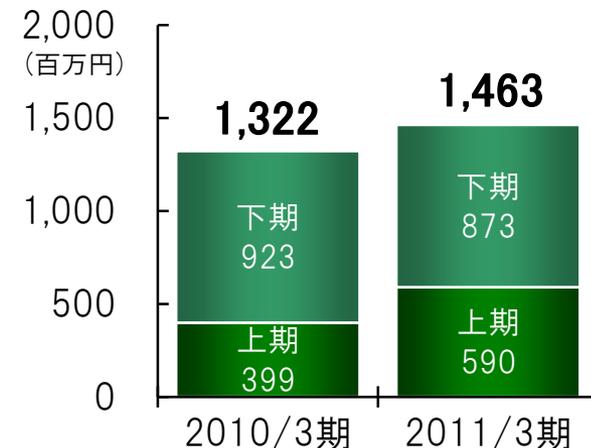
売上高経常利益率
6.7% (前年同期 6.4%)

連結売上高に対する構成比
23.6%

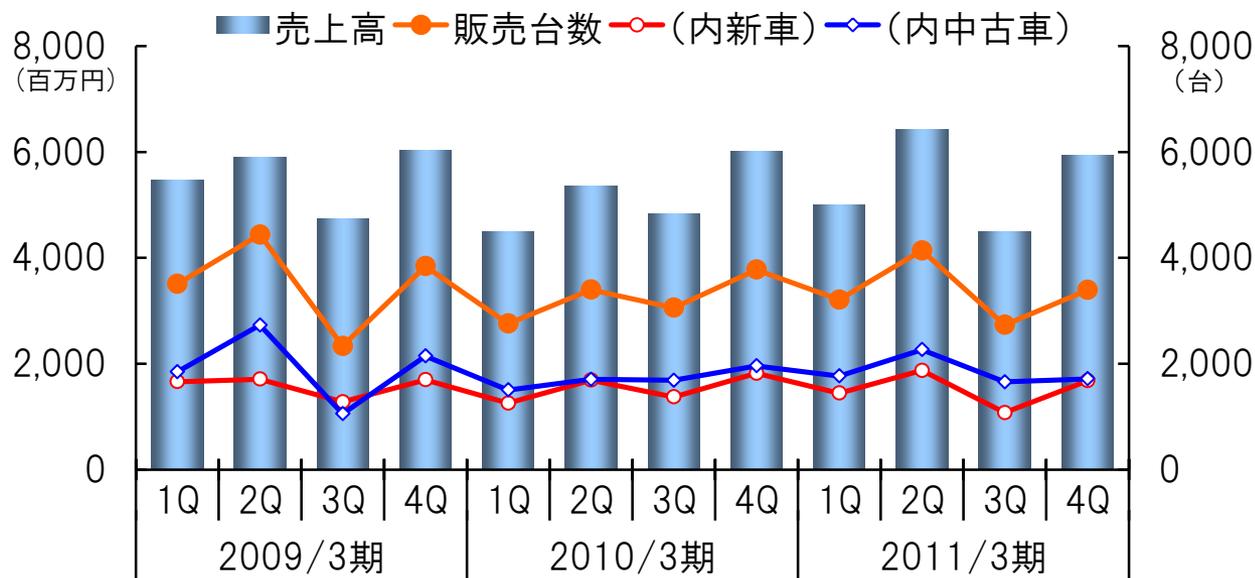
【売上高】



【経常利益】



【売上高及び販売台数】





<愛知県西三河>

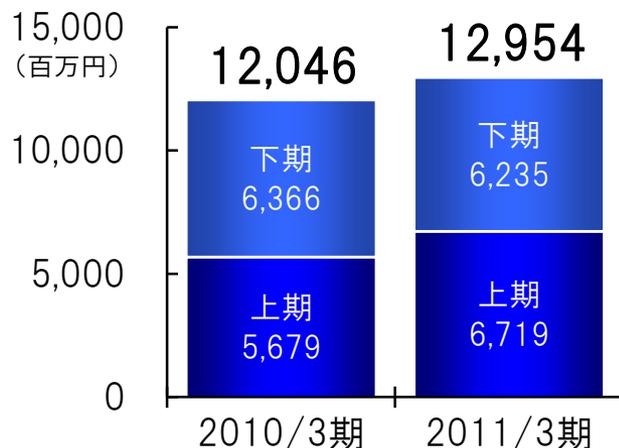
- ・新車 11拠点
- ・中古車 2拠点

増収、増益。過去最高益を更新。

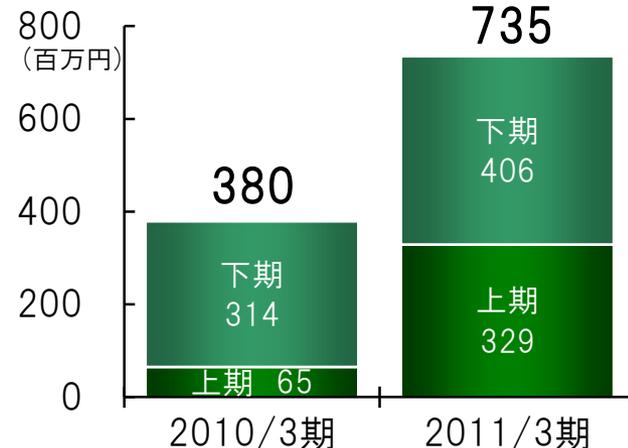
売上高経常利益率
5.7% (前年同期 3.2%)

連結売上高に対する構成比
14.0%

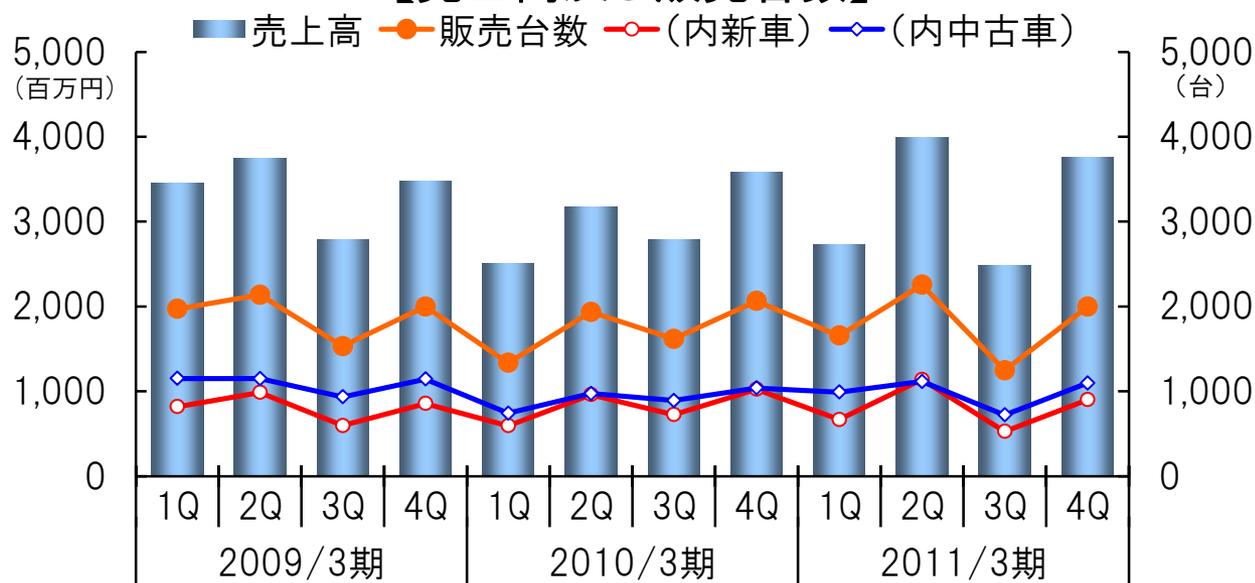
【売上高】



【経常利益】



【売上高及び販売台数】



2011年3月期

- 6月 ジューク 新型コンパクトスポーツクロスオーバー登場(6/9)
- 7月 マーチ フルモデルチェンジし、クラスNo.1の低燃費を実現。(7/13)
- 8月 エルグランド 主力ミニバンがフルモデルチェンジ(8/4)
- 10月 フーガ ハイブリッド 高級セダンフーガにハイブリッドモデルが登場(10/26)
- 11月 セレナ 主力ミニバンセレナがフルモデルチェンジ(11/8)
- 12月 リーフ ゼロエミッションの電気自動車(EV)新登場(12/3)
- 2月 モコ フルモデルチェンジ(2/15)



2012年3月期

6月 ラフェスタハイウェイスター
マツダプレマシーのOEMモデル
が新登場

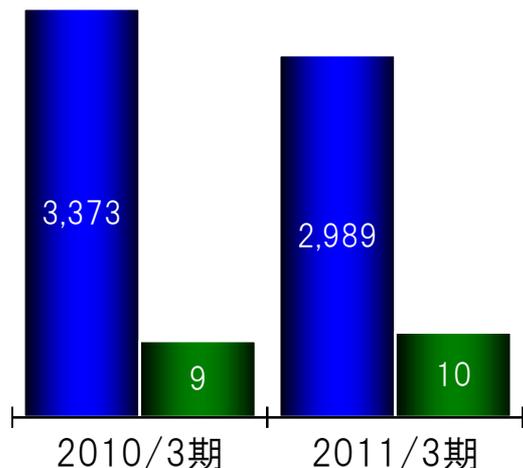


主な子会社 輸入車 4社

フォードライフ中部

〈愛知岐阜三重〉
・新車3拠点 ・その他9拠点

■売上高 ■経常利益 (百万円)



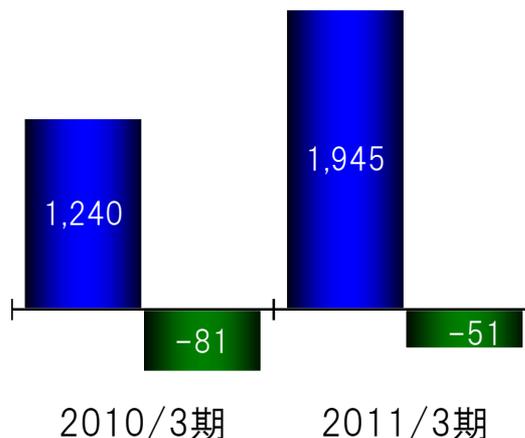
フォードの新車販売を行いつつ、軽自動車を中心としたサブディーラーを展開 堅調に推移

連結売上高に対する 構成比 3.2%

エルシーアイ

〈全国〉 ・直営2拠点 ・代理店21拠点

■売上高 ■経常利益 (百万円)



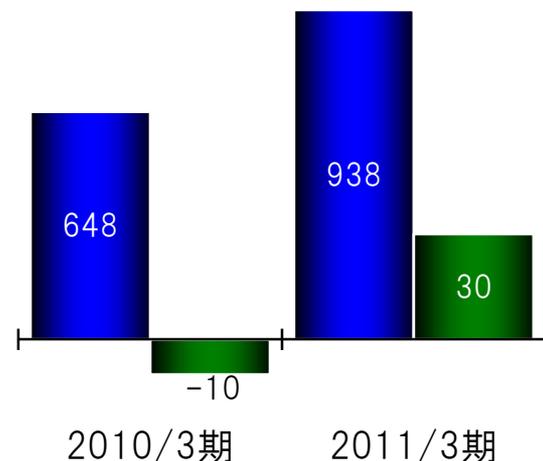
新型車「エヴォーラ」の発売遅延により、昨年度は計画未達「エヴォーラ」「エリーゼ」のATモデル発売に期待

連結売上高に対する 構成比 2.1%

VTインターナショナル

〈大阪1拠点〉

■売上高 ■経常利益 (百万円)



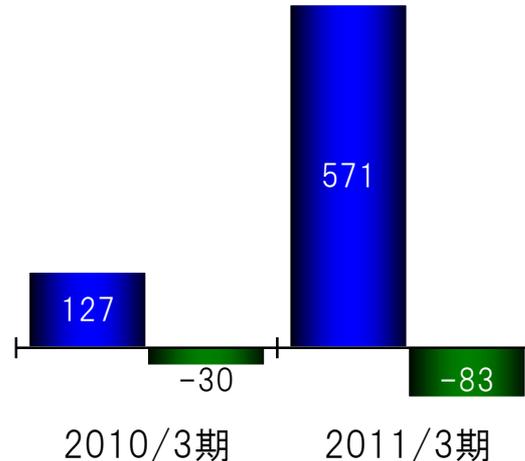
今期は、主力車種「ジャガーXJ」のニューモデルが収益に寄与

連結売上高に対する 構成比 1.0%

ピーシーアイ

〈全国〉 ・代理店20拠点

■売上高 ■経常利益 (百万円)



2011/3期は下期からSAABブランドの取り扱いを開始 今期中の黒字化を目指す

連結売上高に対する 構成比 0.6%

車種別 [新車販売台数]

2011年3月期 実績

(単位:台)



ホンダ車		
1	フィット	1,564
2	フリード	867
3	ステップワゴン	658
4	LIFE	340
5	CR-Z	336
6	ZEST	215
7	インサイト	208
8	オデッセイ	166
9	ストリーム	134
10	シビック	88
11	その他	240
	合計	4,816

■ は軽自動車



日産車		
1	セレナ	1,985
2	ルークス	1,744
3	マーチ	1,558
4	ノート	1,421
5	モコ	1,402
6	キューブ	1,270
7	エクストレイル	1,047
8	ジューク	1,007
9	エルグランド	685
10	ティーダ	680
11	その他	2,874
	合計	15,673

■ は軽自動車



輸入車		
1	Elise	182
2	Exige	60
3	Evora	49
4	SAAB 9-3 Estate	30
5	ジャガーXJ	26
6	ジャガーXF	19
7	SAAB 9-3X	17
8	Caterham RoadSports	15
9	Europa	12
10	エクスペローラー	6
11	その他	53
	合計	469

■ はLOTUS ■ はFORD

■ はJAGUAR & LANDROVER

■ はCATERHAM ■ はSAAB



増収減益。

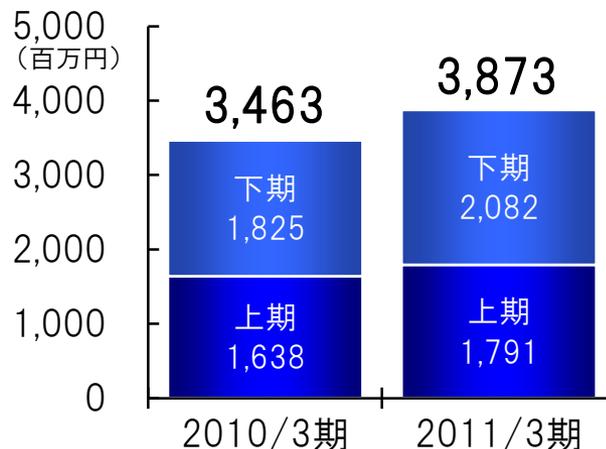
売上高経常利益率
5.7% (前年同期 7.2%)

連結売上高に対する構成比
 4.2%

高額車両の販売増加により販売単価は増加したものの、利益率は若干低下

国内の中古車仕入環境は、震災による中古車需要の拡大に伴い、仕入れ価格が上昇傾向

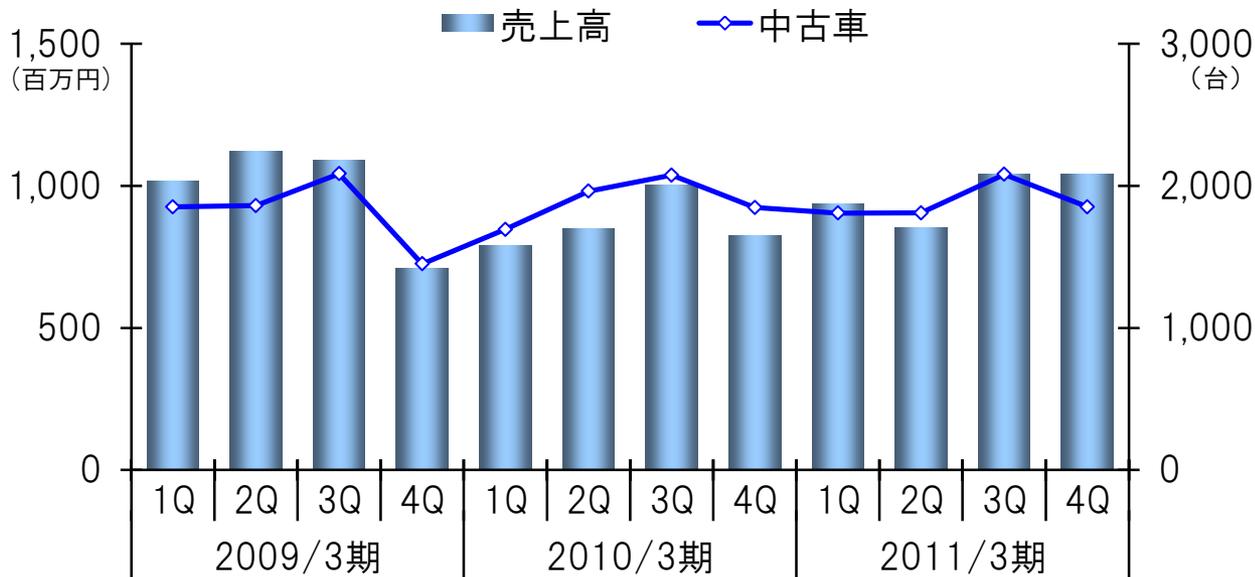
【売上高】



【経常利益】



【売上高及び販売台数】



主な子会社 J-netレンタリース



直営店 26店舗
FC店 54店舗
計 80店舗

(2011年3月末時点)

増収増益。過去最高益を更新。

売上高経常利益率

14.8% (前年同期 11.8%)

連結売上高に対する構成比

4.5%

昨年度新規出店した店舗の売上が
今期増収に寄与

FCの新規開拓に注力し、直営、FC
両面で全国展開を目指す

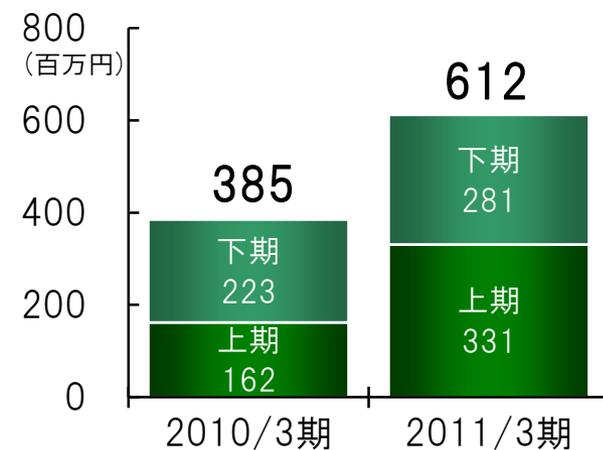
〈2011年3月期に新規出店した直営店舗〉

- ・12月 一宮駅前店(愛知県一宮市)
- ・1月 多治見店(岐阜県多治見市)
- ・2月 堺鳳店(大阪府堺市)
- ・3月 浜松駅前店(静岡県浜松市)

【売上高】



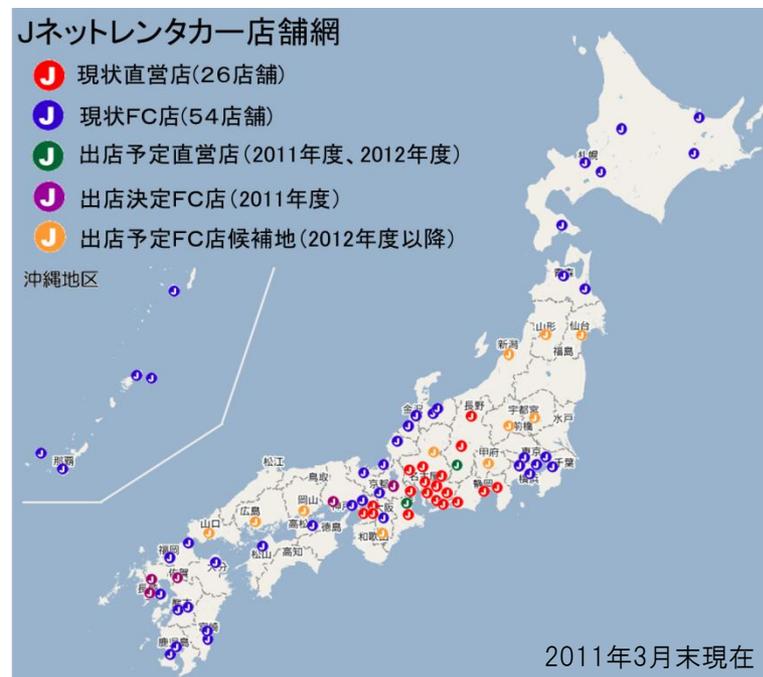
【経常利益】



Jネットレンタカー店舗網

- 現状直営店(26店舗)
- 現状FC店(54店舗)
- 出店予定直営店(2011年度、2012年度)
- 出店決定FC店(2011年度)
- 出店予定FC店候補地(2012年度以降)

沖縄地区



2011年3月末現在

主な子会社 E-FOUR

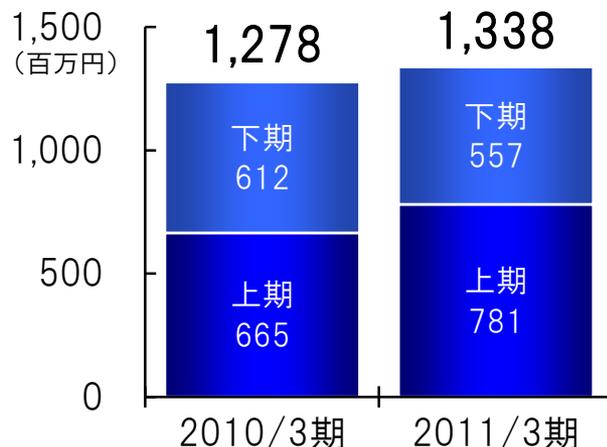


増収増益。過去最高益を更新。

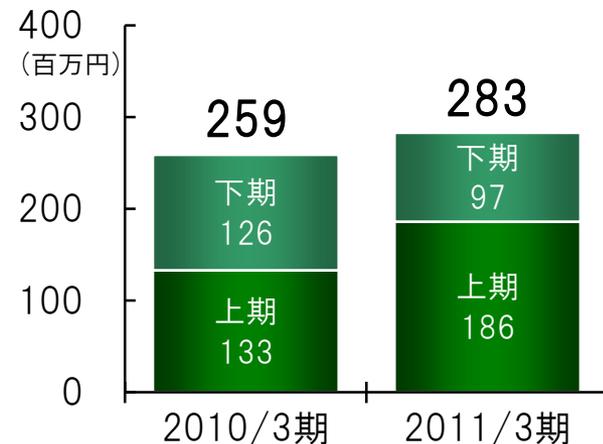
売上高経常利益率
21.2% (前年同期 20.3%)

連結売上高に対する構成比
 1.4%

【売上高】

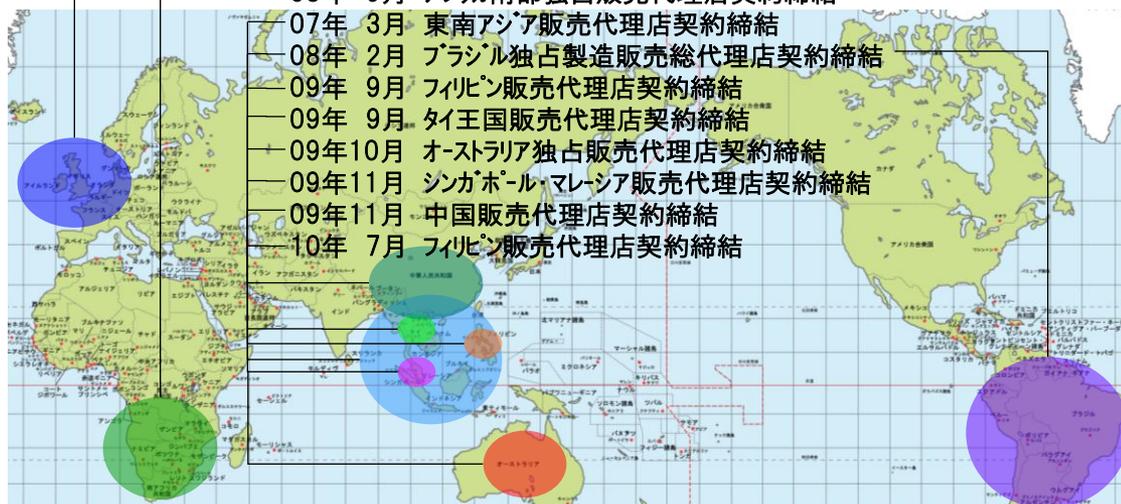


【経常利益】



地球温暖化対策への世界的な関心の高まりなどに伴い、省電力装置「E-FOUR」による電気料金の削減効果、さらには消費電力抑制に伴う二酸化炭素排出量抑制効果が期待され、世界各国から多数の問合せ

- 04年11月 省電力装置の製造販売を開始
- 06年12月 イギリス独占販売代理店契約締結
- 08年 9月 アフリカ南部独占販売代理店契約締結
- 07年 3月 東南アジア販売代理店契約締結
- 08年 2月 ブラジル独占製造販売総代理店契約締結
- 09年 9月 フィリピン販売代理店契約締結
- 09年 9月 タイ王国販売代理店契約締結
- 09年10月 オーストラリア独占販売代理店契約締結
- 09年11月 シンガポール、マレーシア販売代理店契約締結
- 09年11月 中国販売代理店契約締結
- 10年 7月 フィリピン販売代理店契約締結

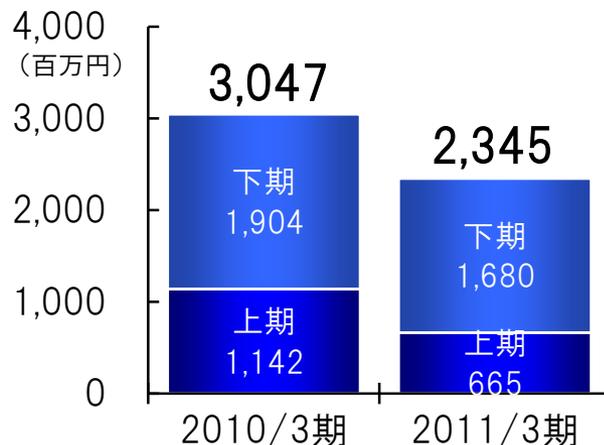




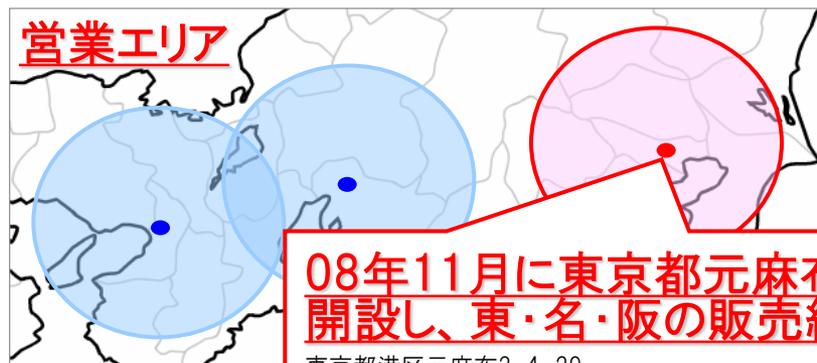
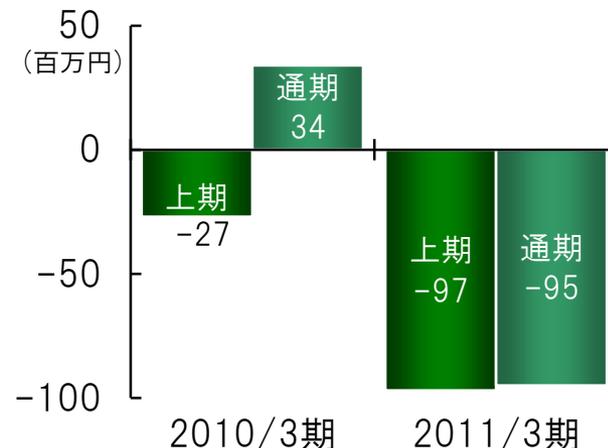
デザイナーズハウスの草分け的存在

連結売上高に対する構成比
2.5%

【売上高】



【経常利益】



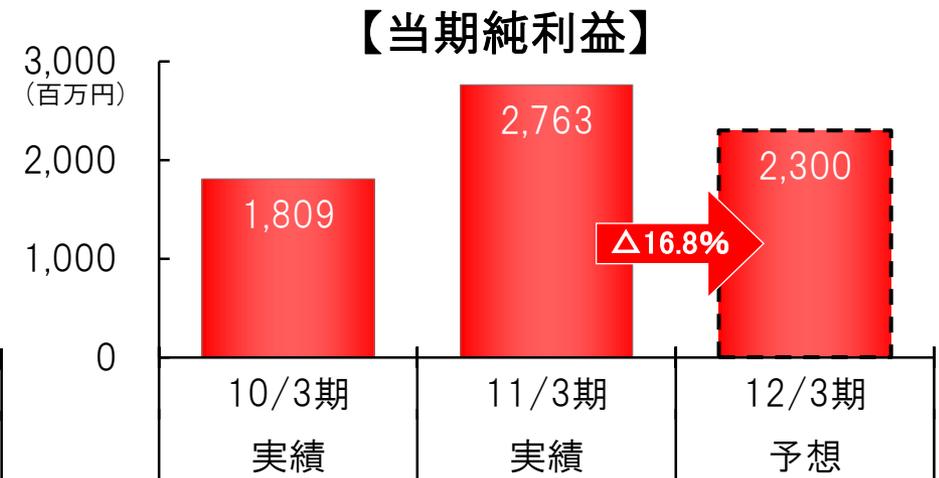
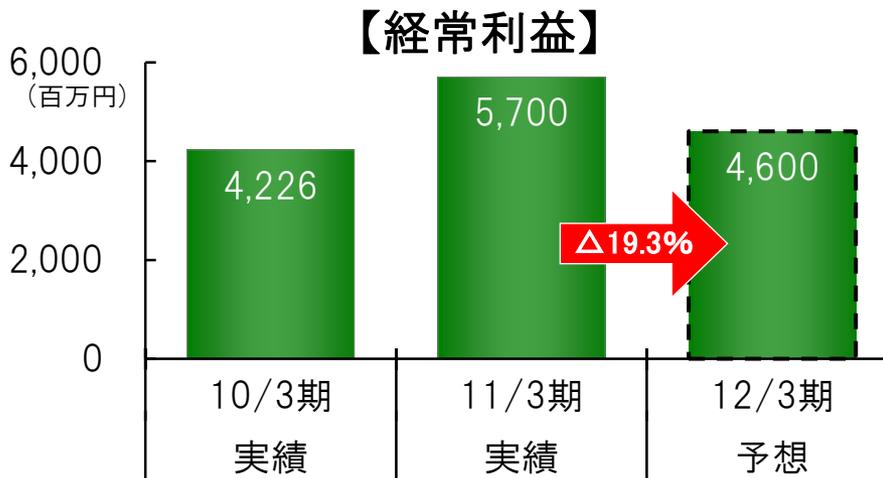
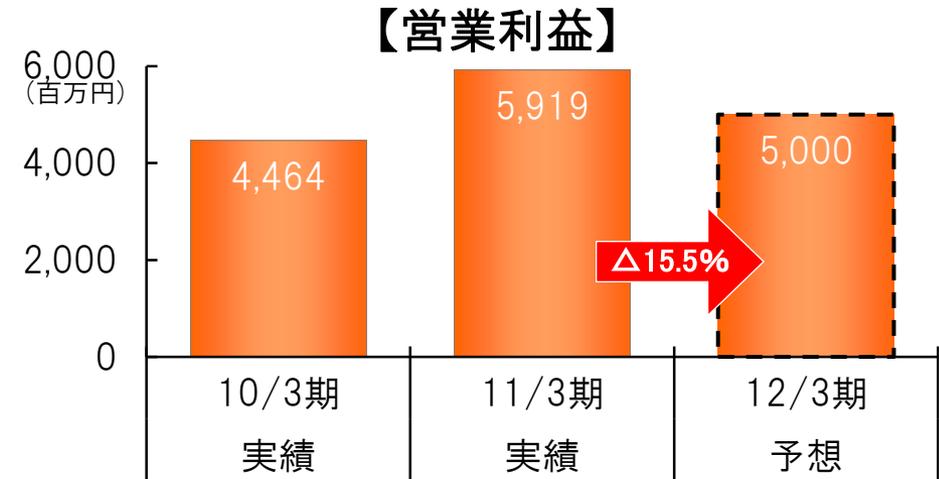
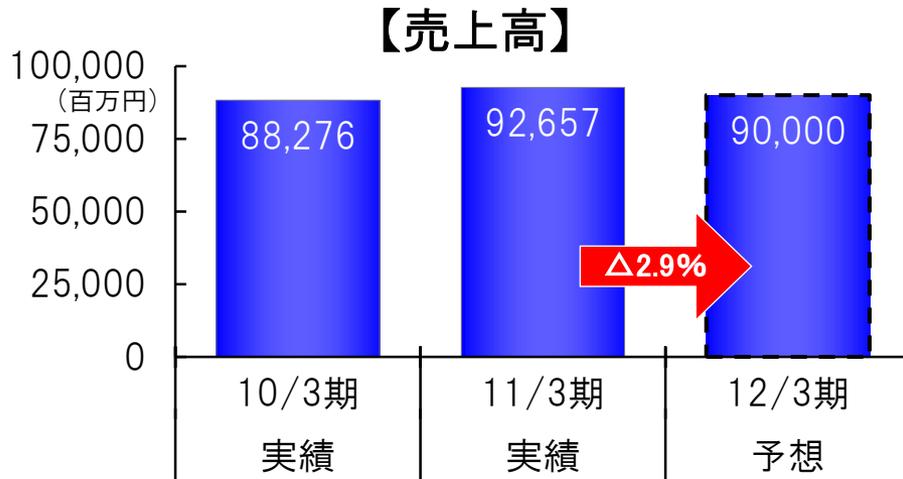
08年11月に東京都元麻布に東京ギャラリーを開設し、東・名・阪の販売網を確立。

東京都港区元麻布3-4-29
ツールプランシユ麻布



2012年3月期予想は、東日本大震災の影響を最大限考慮

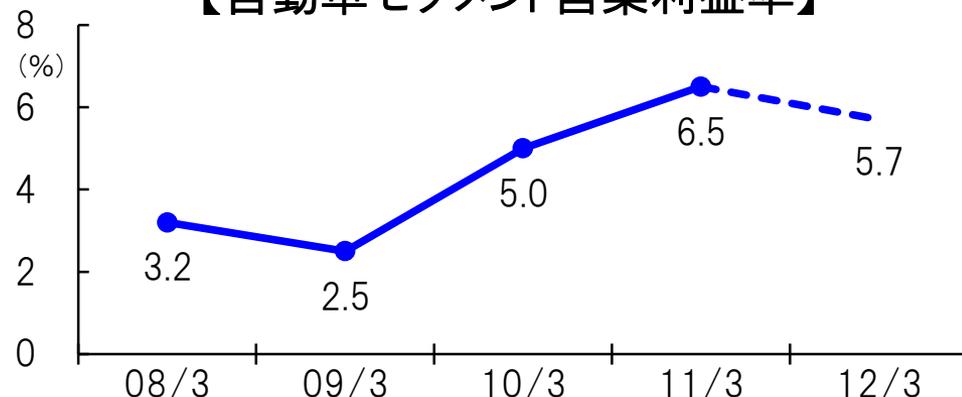
✓ 震災に伴う景気の下振れ、復興に伴う需要喚起等の不透明要素は、可能な限り保守的に織込む



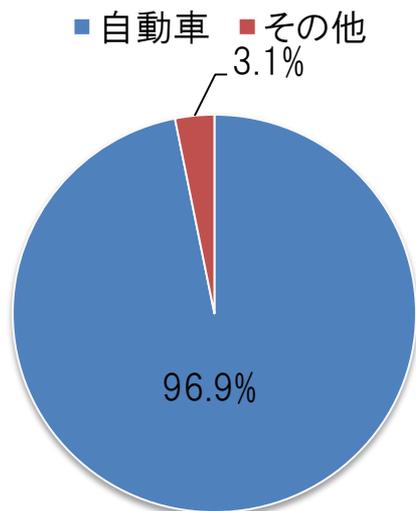
自動車セグメントは 堅調に推移する予定

✓自動車セグメントの営業利益率は、エコカー補助金終了の影響などにより、若干低下するものの、引き続き5%程度をキープする見込み。

【自動車セグメント営業利益率】



【セグメント別売上高構成】



2012年3月期計画

		08/3	09/3	10/3	11/3	12/3 計画	前期比
(単位:百万円)							
売上高	自動車	104,910	88,853	83,681	88,914	87,177	98.1%
	その他	3,064	4,576	4,594	3,676	2,823	76.8%
	連結	107,976	93,430	88,276	92,657	90,000	97.1%
営業利益	自動車	3,417	2,243	4,157	5,760	5,007	86.9%
	その他	245	529	435	159	△7	—
	連結	3,370	2,393	4,464	5,919	5,000	84.5%

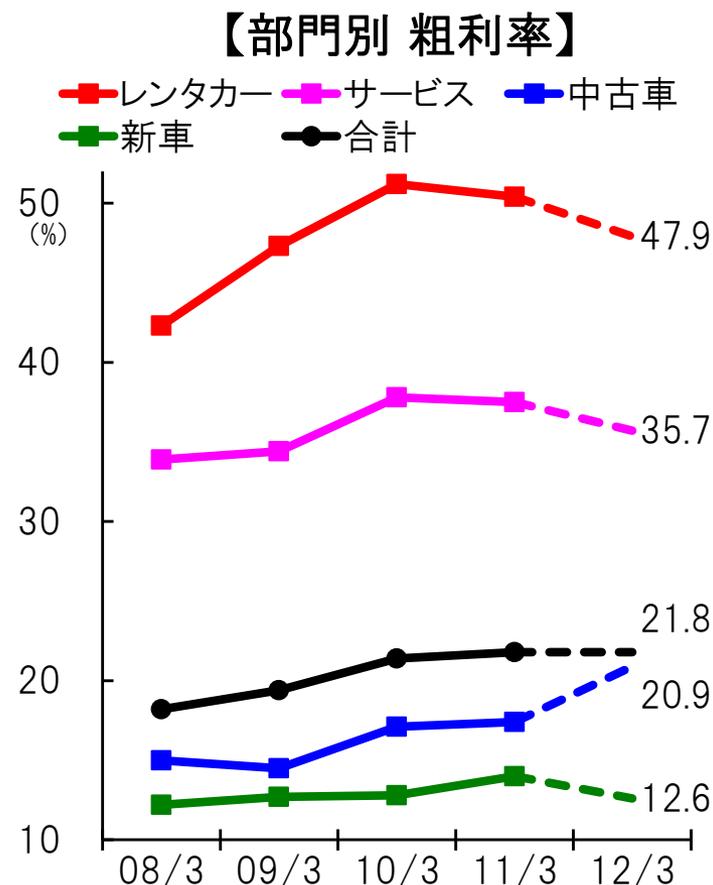
※ 前期までのセグメント情報において別掲していた不動産賃貸業、投資関連事業は、資産売却などにより、金額が些少となった為、今期からは別掲せずに「その他」に含んでおり、そのほか「その他」には、住宅関連事業、環境関連事業、全社費用と調整額を含んでおります。

自動車セグメント 部門別損益計画

粗利益段階では、ほぼ前期並みの計画

- ✓エコカー補助金の終了や震災による車両納期遅延などにより、新車部門は、若干の減益を想定。
- ✓中古車部門は震災の影響で、車両仕入れ数が減少するものの粗利率は改善される見込み

		08/3	09/3	10/3	11/3	12/3 計画	前期比
(単位:百万円)							
売上高	新車	52,590	42,005	41,686	42,937	42,982	100.1%
	中古車	27,925	22,833	17,656	21,095	18,403	87.2%
	サービス	21,828	21,691	21,545	21,375	21,502	100.6%
	レンタカー	2,566	2,323	2,792	3,505	4,289	95.1%
	合計	104,910	88,853	83,681	88,914	87,177	98.1%
粗利益	新車	6,431	5,362	5,356	6,010	5,426	90.3%
	中古車	4,200	3,323	3,027	3,663	3,842	104.9%
	サービス	7,416	7,468	8,146	8,023	7,686	95.7%
	レンタカー	1,086	1,101	1,429	1,766	2,056	116.4%
	合計	19,133	17,256	17,959	19,469	19,012	97.7%
粗利率	新車	12.2%	12.8%	12.8%	14.0%	12.6%	-1.4%
	中古車	15.0%	14.6%	17.1%	17.3%	20.9%	+3.5%
	サービス	34.0%	34.4%	37.8%	37.5%	35.7%	-1.8%
	レンタカー	42.3%	47.4%	51.2%	50.4%	47.9%	-2.5%
	合計	18.2%	19.4%	21.4%	21.9%	21.8%	-0.1%



事業の選択と集中

(1) 自動車販売関連事業に集中

既存会社の収益性アップと赤字会社の黒字化に注力

当社ビジネスモデルの更なる強化

(2) 住宅関連、環境関連事業は維持拡大

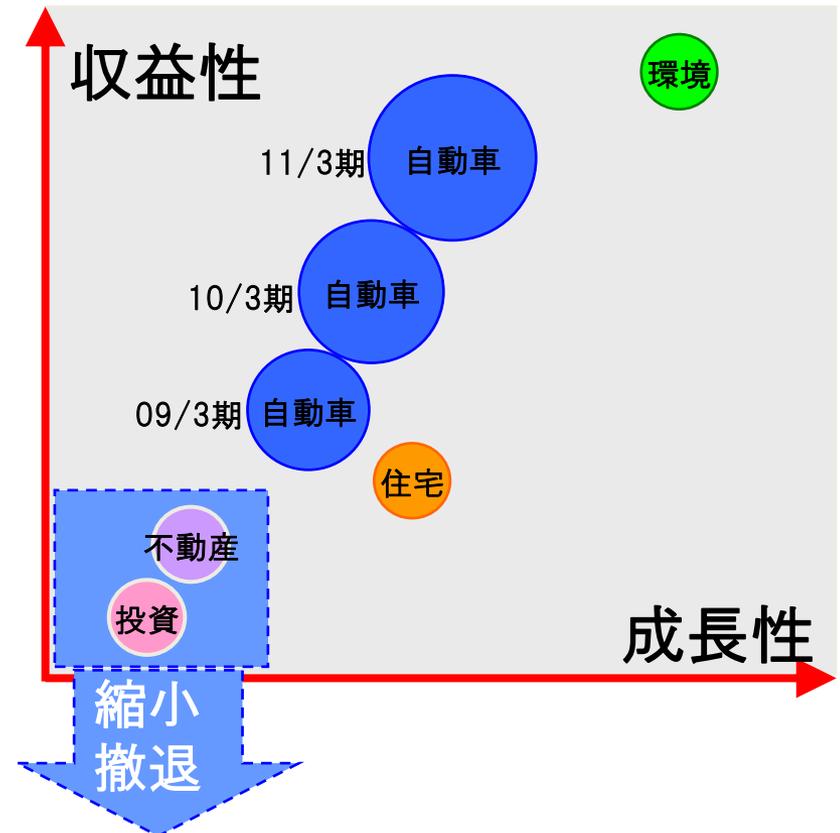
特に環境関連事業は、世界各地向けに大幅な伸びが期待される

営業CFの最大化

(3) 2010/3期中に不動産賃貸、投資関連事業は縮小、廃止

✓ 賃貸用不動産物件の売却 ✓ 投資有価証券の売却

財務体質の強化



資金化し、負債を圧縮

財務体質の強化

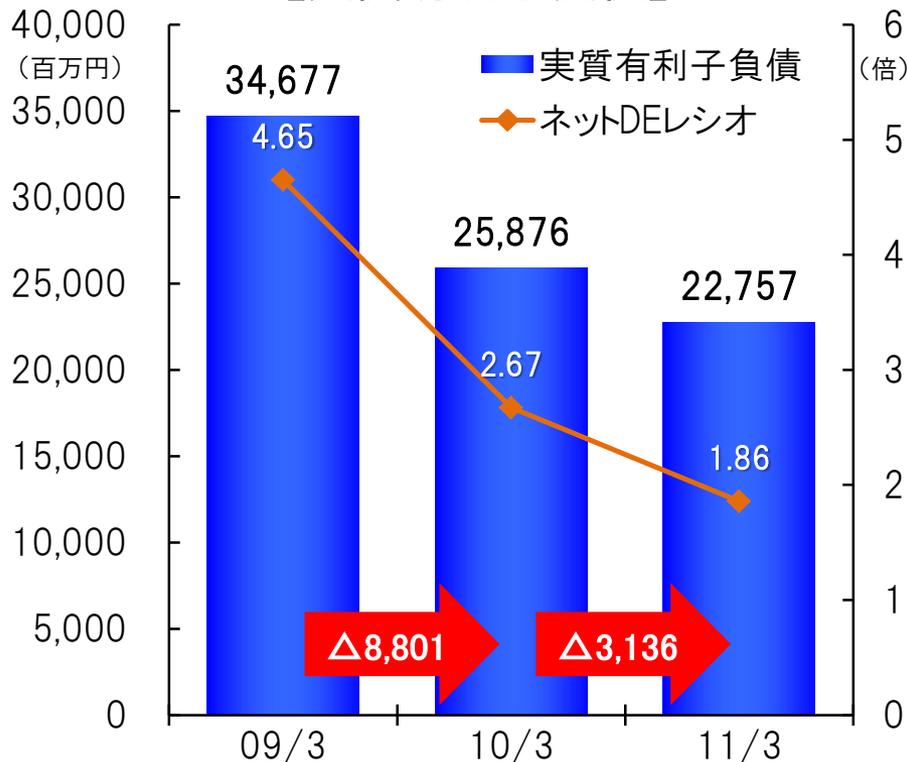
1. 実質有利子負債の削減

実質有利子負債を10/3期末残高から
31億円削減

※実質有利子負債＝有利子負債－現預金

※ネットDEレシオ＝実質有利子負債÷自己資本
(実質負債資本倍率)

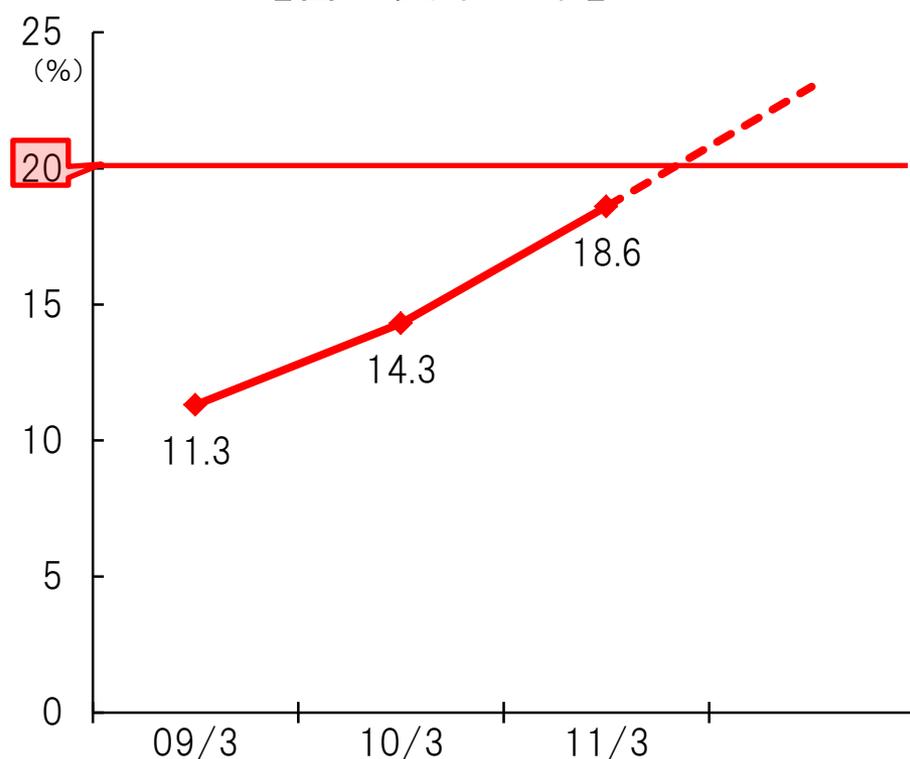
【実質有利子負債】



2. 自己資本の充実

12/3期末までに自己資本比率を**20%**以上に改善する目標に対し、11/3期末段階で、20%目前であり、今期中の20%到達は確実

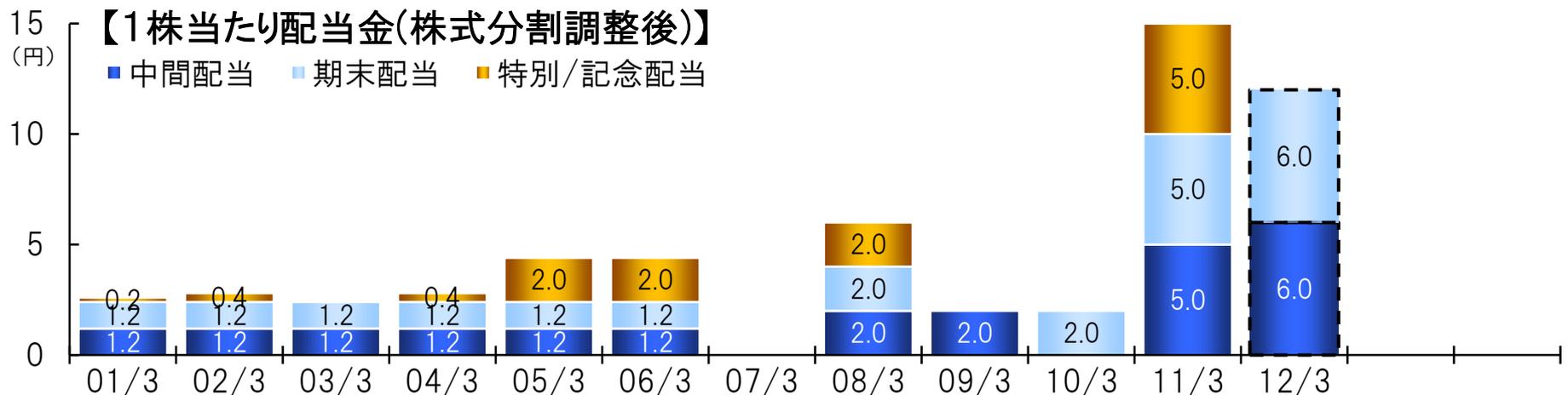
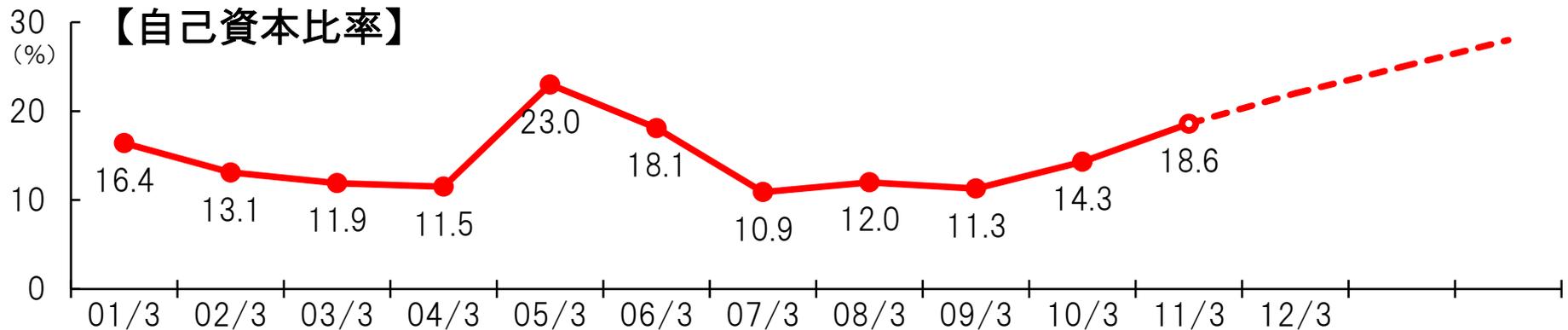
【自己資本比率】



配当・資本政策について

成長投資、財務の安全性とのバランスの中で株主還元を実現

12/3期までの自己資本比率20%以上の達成を考慮しつつも、配当性向20%を目標とした株主還元を実施し、11/3期は期末配当5円に特別配当5円を追加。結果、当初予定の普通配当10円と合わせて、前期比13円の増配に。



海外進出

南アフリカでの新車ディーラービジネスへ進出

- ✓平成23年2月15日に、子会社トラストが南アフリカの新車ディーラーに資本参加。50%超を取得し子会社化するとともに、社名をTRUST ABSOLUT AUTO (PROPRIETARY) LIMITED とした。
- ✓トラストは、今回の南アフリカの新車ディーラー子会社化により、同社の中古車輸出の60%近くを占めるアフリカ地域における情報収集の強化や既存の中古車輸出事業とのシナジー創出が可能となります。
- ✓現在、南アフリカ共和国において、首都プレトリア市内のプジョーの販売店1店舗とケープタウン市周辺のフィアットの新車ディーラーを運営しており、今年度は約10億円の売上高を見込んでおります。

首都プレトリア市内
のプジョーの販売店



ケープタウン市近郊
のフィアットの販売店



- ✓さらに、平成23年3月25日には、同じく南アフリカの新車ディーラーであり、双日株式会社が出資するSOJITZ ABSOLUT AUTO (PROPRIETARY) LIMITED に出資、持分法適用会社としており、ヨハネスブルグ市内、ケープタウン市近郊のスズキの販売店3店舗の運営にも参画しております。



財務体質の強化を一層推進しつつ、安定成長のステージへ

- ✓ 業界随一の成長率：98/3～11/3で売上規模は約13倍に
経常利益は約19倍に
- ✓ 2011年3月期に過去最高益を更新

